

取組①：スーパーシティ構想への参画を通じた地域課題の解決と新たな産学連携体制の構築



「IMaC」と「スーパーシティ構想推進拠点」の連携強化 (内閣府が掲げる「国家戦略特区」に協働申請)

岡山県吉備中央町を舞台(実証の場)に大学と企業の知と技を結集。**イノベーション創出を活用し、地域課題を解決し、まちを変革する。(地元住民の期待)**

【先行重点実施領域】

- 高度救急・遠隔医療・予防医療
- 母子手帳デジタル化等 から次の課題へ

●スーパーシティ構想に関わる共同開発研究企業数

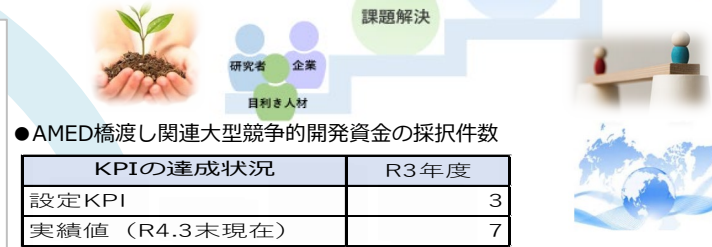
KPIの達成状況	R3年度
設定KPI	2
実績値 (R4.3末現在)	3



取組②-1：新たな国際共同創薬プラットフォームの創設

IMaCとの協働：グローバル視点のSeeds支援を組込

- 独国マックス・プランク研究所において創薬活動を多数経験した主任研究員を特任教授として招聘。(カアポ®イットマト)
- 従来のSeeds手法に海外の成功事例を加えた「新Seeds戦略を展開」。(医療系から意識改革・行動変容を起こす)
- Seedsの評価精度(目利き)を高め、研究成果の社会実装、国際展開を加速。
- 令和4年度橋渡し研究プログラム申請件数が前年度の1.5倍。(岡山大学橋渡し拠点)



●AMED橋渡し関連大型競争的開発資金の採択件数

KPIの達成状況	R3年度
設定KPI	3
実績値 (R4.3末現在)	7

- 取組②-2:バイオバンクの臨床検体分譲の促進と効率化
- 取組②-3:市場価値の高い腫瘍浸潤免疫細胞のバイオバンクに基づく外部資金の獲得強化

IMaC司令塔機能：重点分野へのリソース集中と基盤組織の強化がシナジー効果を生み出し、資金獲得から再投資・強化へつなげる。(資金の好循環)



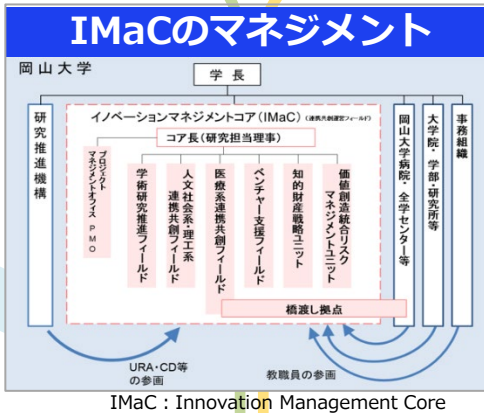
●臨床検体の分譲による収入額

KPIの達成状況	R3年度
設定KPI	4,500千円
実績値 (R4.3末現在)	16,169千円

●臨床情報・検体の外部提供を伴う共同研究契約額

KPIの達成状況	R3年度
設定KPI	6,500千円
実績値 (R4.3末現在)	15,218千円

令和3年度AMEDゲノム医療実用バイオバンク活用プログラム採択 (83,330千円獲得)
JST創発的研究支援事業採択 (上記重点分野2人目)



取組③：イノベーション・マネジメント機能の更なる強化

■設備共用ポータル

- ・設備の検索
- ・機器の情報提供
- ・問い合わせ
- ・利用相談
- ・予約申し込み
- ・機器の利用
- ・稼働状況
- ・使用料の請求

学内の研究設備を一体的に運用

環境変化に強い大学へ体質強化

ERMで攻めの経営戦略を進め、大学価値を向上

大学価値向上

外部重視RM
大学価値維持

財務・オペレーションRM

コンプライアンスRM

基本的な内部統制

リスク・アプローチ

- トップが火を噴くガバナンス改革
- つもり瘡の克服
- 「対策・学習・仕組み化したつもり」をなくす
- 学術コンサルティングによりノウハウ提供で地元企業支援

IMaC主導の施策展開

- リソースを収益に転換する意識変化。
- 攻めのリスク制御→行動変容→組織力強化を展開
- 組織文化改革による大学経営の新機軸。

●共用機器登録台数

KPIの達成状況	R3年度
設定KPI	350台
実績値 (R4.3末現在)	360台

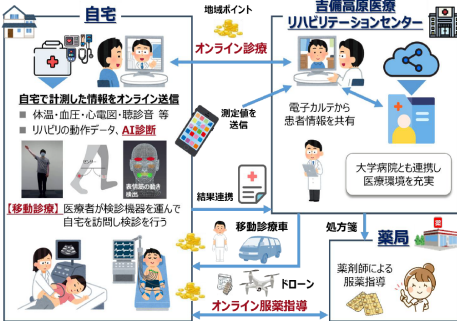
●地域を中心とした学外者へのERM/IR提供

KPI①の達成状況	R3年度
設定KPI	300人以上
実績値 (R4.3末現在)	1,094人

経営基盤を強化する外部資金獲得を推進する体制の整備



取組①：スーパーシティ構想への参画を通じた地域課題の解決と新たな産学連携体制の構築



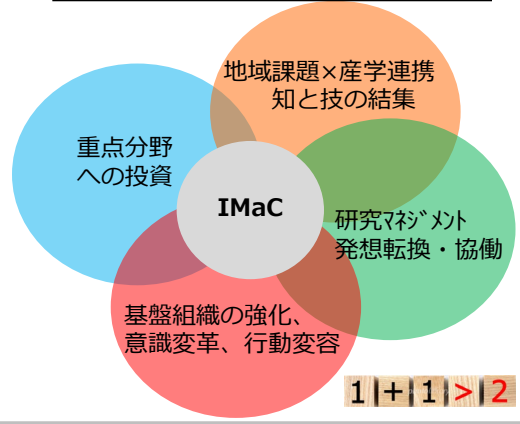
地域課題×産学連携知と技の結集

【岡山大学スーパーシティ構想事業推進拠点】

岡山県吉備中央町を舞台（実証の場）に大学と企業の知と技を結集し、新しいまちづくりへの変革を担う。
(イノベーション創出・外部資金獲得・地方創生モデル)

「高度救急」・「遠隔医療」・「予防医療」・「母子手帳のデジタル化」の専門教員と協働企業による産学連携を促進する体制を構築。
課題解決を実用化につなげる事案は、共同研究ニーズが高い。獲得資金を次の課題へ循環。

IMaCによる研究シナジー戦略



重点分野への投資

基盤組織の強化

IMaC司令塔機能：重点分野へのリソース集中と基盤組織の強化がシナジー効果を生み出し、資金獲得から再投資・強化を行い、さらなる外部資金獲得に発展するイノベーション・エコシステムの仕組みを構築。
(資金の好循環)

取組②-1：新たな国際共同創薬プラットフォームの創設

研究マネジメント・発想転換

【国際共同創薬プラットフォーム拠点】

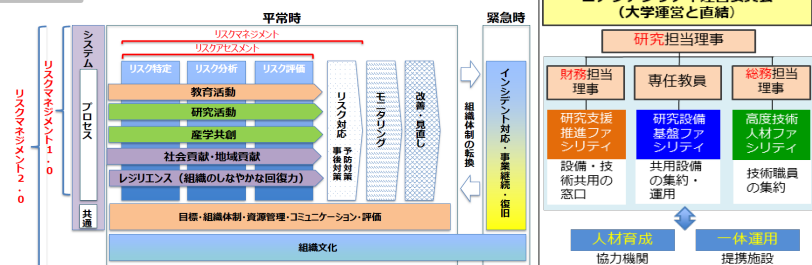
- 独国マックスプランク研究所において創薬活動を多数経験した主任研究員を招聘。
- 橋渡し支援拠点のノウハウ × 海外成功例
新たなSeeds支援システム導入により大型外部資金獲得、知財収入を獲得。
→ 他分野への投資・強みへの一層の強化へ



取組③：イノベーション・マネジメント機能の更なる強化

研究マネジメント・発想転換

ERM: Enterprise Risk Management



- IMaC (価値創造統合リスクマネジメントユニット) がERM攻めのリスクマネジメントを展開。
- IMaCのトップマネジメントにより機器共用化体制を強化。
- 研究機器の共用化により、学内外の研究活動の利便性を高めるとともに、自らのリソースを収益 (利用料・共同研究) に転換する循環システムを構築。

学長のトップマネジメント (ITベンズに基づく大学経営→リソース配分)



IMaCの研究マネジメント (イノベーションマネジメントコア) × IR/IE機能の強化

研究戦略立案、トレンド分析、社会課題とのマッチングにより政策提案→外部資金獲得増。

岡山大学の強みの研究領域
世界Top1%に位置する研究分野

臨床医学	67,001
物理学	57,134
植物・動物学	22,605
化学	22,456
生物学・生化学	17,570
分子生物学	16,193
脳科学・行動学	10,426
地球科学	7,519
薬理学・毒性学	4,658
工学	3,152
農業科学	2,862
社会科学・一般	1,987

2022～2027 岡山大学ビジョン3.0 ありたい未来を共に育み共に創る 研究大学

【第4期中期目標計画(抜粋)】

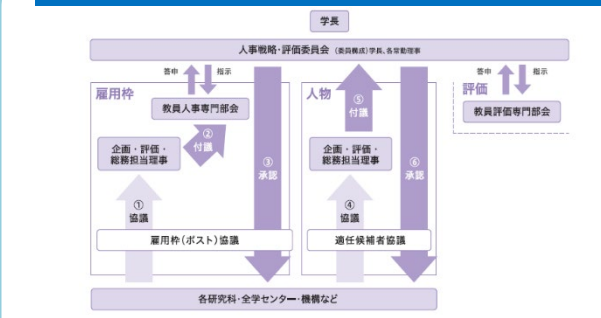
- ◆社会課題の解決及び社会改革の実現に寄与する科学的理論及び基礎的知見を創出するための強みである研究分野を中心とした、国際研究拠点及び次世代研究拠点を形成。
- ◆人材・知・資金の好循環によるイノベーション・エコシステムを構築するために、学内におけるイノベーション創出機能の集約化と強化による戦略的活動を実施する組織を構築・運営。
- ◆研究設備・機器の全学的マネジメントによる戦略的な整備・共用。アカデミの枠を超えた保有資産の共同利用の推進。
- ◆大学経営の視点から統合的リスクマネジメント(ERM)に取り組み、本学で発生するあらゆるリスクを統合的・包括的・戦略的に把握・評価・最適化し、本学の価値の最大化を図る。

大学の強みを伸ばす予算の戦略的配分 **金**



- 概算要求事項、全学予算支援事業について、棚卸し・再整理。
- 各事業の性質・レベルから判断し支援体制(予算)を決定。
- 大学の戦略を推進する事業に優先的に予算配分する仕組みを構築。

経営的・戦略的視点に立った新人事システム **人**



- 全学的な人事に関する審議機関を新設置。
- 大学経営の観点から、教員の配置・採用を一括管理。
- 大学の戦略に資する人材の確保を図り、大学の強みを伸ばす人事戦略を実施。

学内機器の共用化を進め無駄のない研究環境を構築 **物**



- IMaCのマネジメントにより機器共用化体制を強化。
- 研究機器の共用化により、学内外(世界を含む)の研究活動の利便性を高めるとともに、自らのリソースを収益(利用料・共同研究)に転換する循環システムを構築。